2011年度第1四半期
決算説明資料

2011年　8月

三菱重工業株式会社

三菱重工
この星に、たしかな未来を

＜目次＞

Ⅰ．2011年度第1四半期決算実績

・第1四半期決算実績 サマリー　4
・第1四半期決算実績 セグメント別　5
・税引前利益増減要因　6
・経常利益・特別損益　7
・決算実績 セグメント別
〈船舶・海洋〉　8
〈原動機〉　9
〈機械・鉄構〉　10
〈航空・宇宙〉　11
〈汎用機・特殊車両〉　12
〈その他〉　13
・貸借対照表　14
・補足資料　15

Ⅱ．2011年度業績見通し

・業績見通し サマリー　17
・業績見通し セグメント別　18

Ⅰ．2011年度第1四半期決算実績

第1四半期決算実績 サマリー

（単位：億円）

	'10-1Q	'11-1Q	増減
受注高	5,347	6,213	+866
売上高	6,641	6,136	△ 504
営業利益	390	387	△ 3
経常利益	281	296	+15
特別損益	△ 35	△ 21	+13
税金等調整前四半期純利益	246	274	+28
四半期純利益	104	96	△ 8

受注高　⇒対前年同期 ＋866億円増加（ 5,347億円 → 6,213億円 ）

前年同期に大型受注のあった航空・宇宙部門で減少したものの、原動機部門、機械・鉄構部門を中心に増加し、全体では前年同期を上回った。

売上高　⇒対前年同期 △504億円減少（ 6,641億円 → 6,136億円 ）

航空・宇宙部門、汎用機・特殊車両部門等が増加したが、前年同期の売上規模が大きかった機械・鉄構部門の減少等により前年同期を下回った。

純利益　⇒対前年同期 △8億円減少（ 104億円 → 96億円 ）

円高が減益要因となったものの、プラント工事の採算改善の進捗等により、前年同期並みの水準となった。

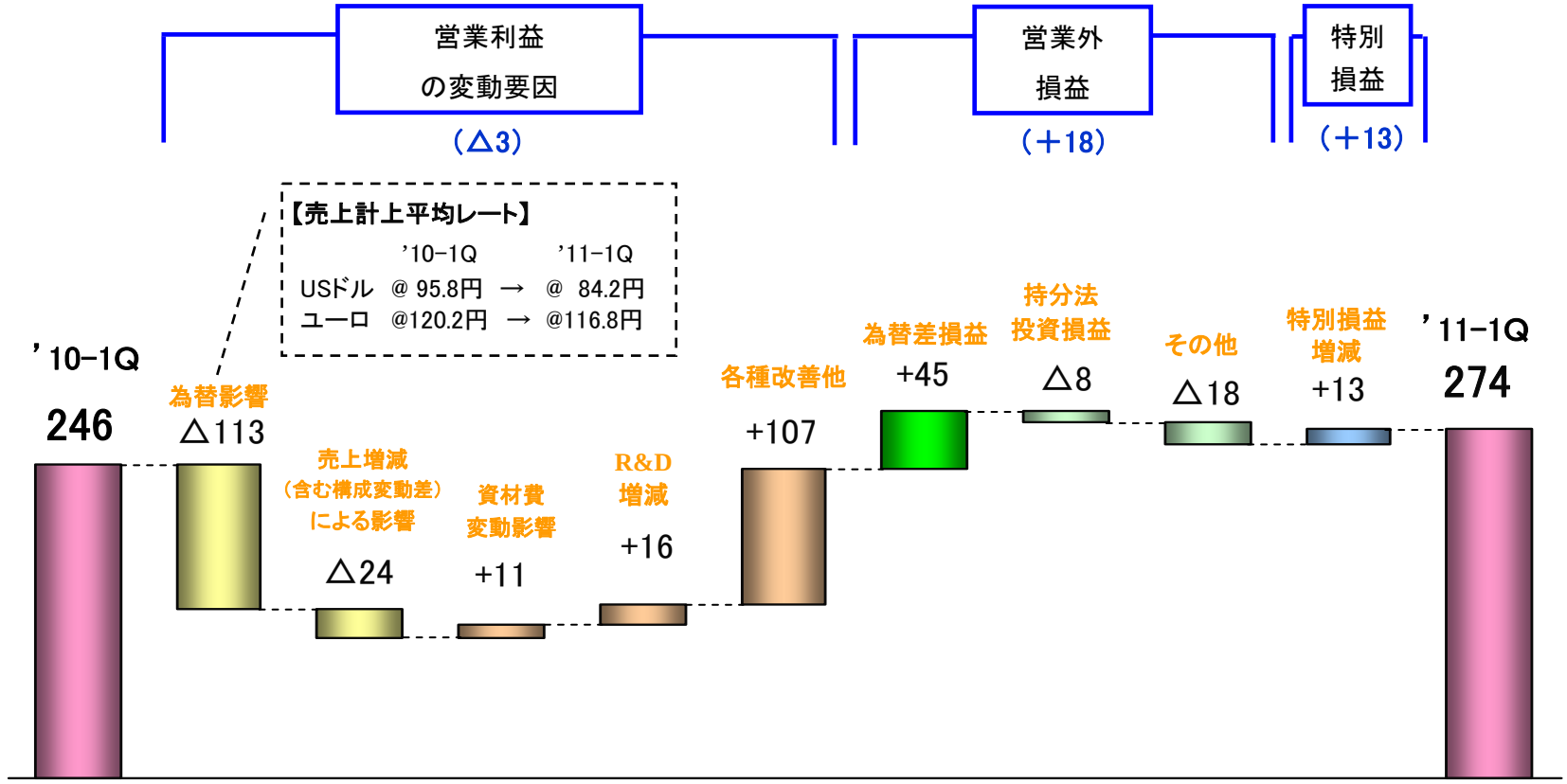
第1四半期決算実績 セグメント別

（単位：億円）

	受注			売上			営業利益		
	'10-1Q	'11-1Q	増減	'10-1Q	'11-1Q	増減	'10-1Q	'11-1Q	増減
船舶・海洋	78	124	+45	834	632	△ 201	58	38	△ 20
原動機	1,756	2,558	+801	2,392	2,135	△ 256	343	342	△ 1
機械・鉄構	1,127	1,435	+307	1,410	842	△ 568	85	34	△ 50
航空・宇宙	1,123	634	△ 489	806	1,075	+268	△ 28	△ 29	△ 0
汎用機・特殊車両	681	804	+123	711	868	+157	△ 61	△ 18	+42
冷熱	369	391	+22	367	394	+26	△ 8	1	+9
工機・その他	287	351	+63	245	269	+24	2	19	+16
その他	656	743	+86	612	663	+51	△ 5	20	+26
消去または共通	△ 76	△ 86	△ 9	△ 126	△ 81	+44	－	－	－
合計	5,347	6,213	+866	6,641	6,136	△ 504	390	387	△ 3

税引前利益増減要因

対前年同期 ＋28億円増加（ 246億円 → 274億円 ）



経常利益・特別損益

・経常利益　（対前年同期 ＋15億円（281億円→296億円））

（単位：億円）

		'10-1Q	'11-1Q	増減
営 業 利 益		390	387	△ 3
	為替差損益	△ 91	△ 45	＋45
	金融収支	△ 34	△ 28	＋5
	持分法投資損益	9	1	△ 8
	その他	6	△ 17	△ 23
営業外損益		△ 109	△ 90	＋18
経 常 利 益		281	296	＋15

・特別損益　（対前年同期 ＋13億円（△35億円→△21億円））

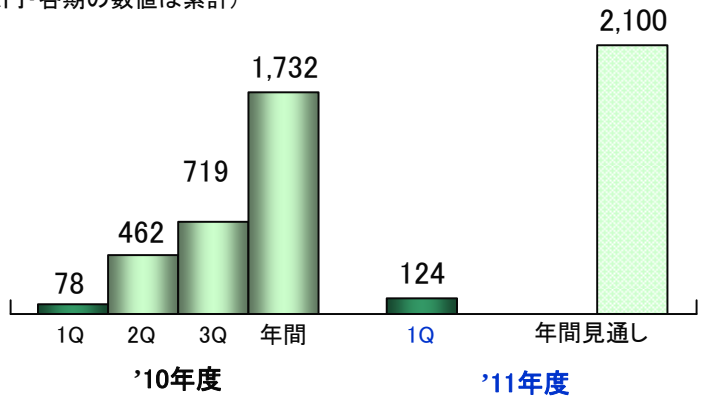
（単位：億円）

	'10-1Q	'11-1Q	増減
・投資有価証券売却益	26	－	△ 26
特 別 利 益	26	－	△ 26
・投資有価証券評価損	△ 41	△ 21	＋19
・資産除去債務	△ 20	－	＋20
特 別 損 失	△ 61	△ 21	＋40
特 別 損 益	△ 35	△ 21	＋13

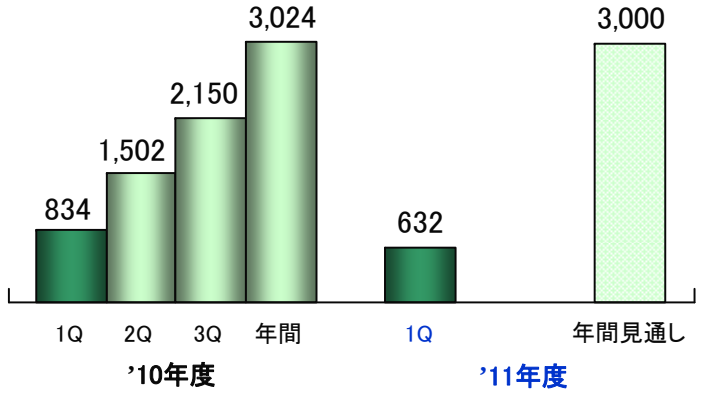
〈船舶・海洋〉

（億円・各期の数値は累計）

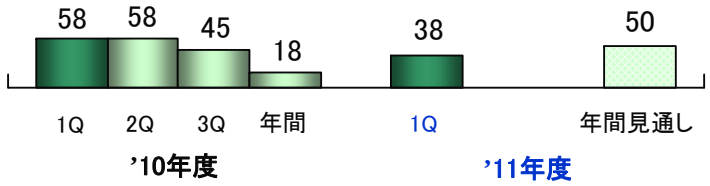
受注



売上



営業利益



受注 ：対前年同期＋45億円の増加

・新造商船の受注環境は、厳しい状況が続いており、当期は修繕工事が中心となったが、予ねてより取り組んでいる客船の商談は順調に進捗している。

・また、LNG需要の高まりに伴い、LNG船の商談が活発化しており、これらへの対応に注力している。

【受注隻数 】
'10-1Q： 0隻 ('10年度: 17隻)
'11-1Q： 0隻

【契約残隻数】 45隻
（自動車運搬船8隻、巡視船7隻、LPG船5隻、RORO船4隻、他）

売上/損益 ：対前年同期 △201億円/△20億円の減収減益

・当期は自動車運搬船3隻、コンテナ船2隻、油送船(VLCC)1隻、巡視船2隻の合計8隻を引き渡した。

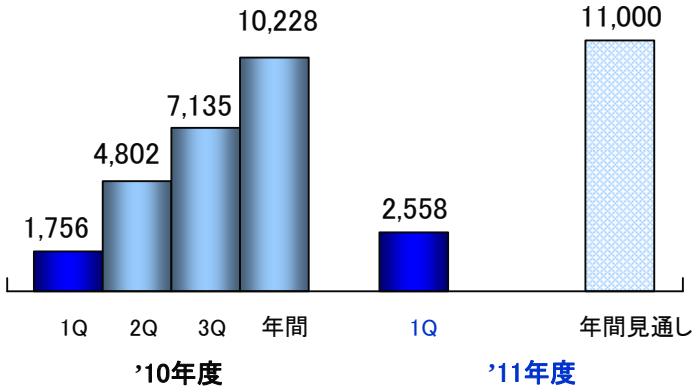
【引渡隻数 】
'10-1Q : 8隻 ('10年度: 23隻)
'11-1Q : 8隻

・円高の進行や受注工事損失引当額の影響等により、前年同期から減益となった。

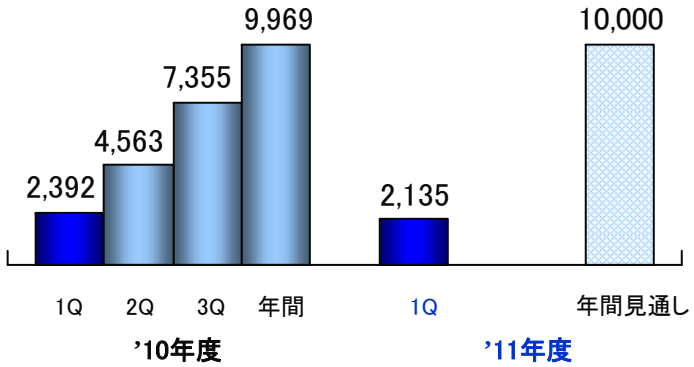
〈原動機〉

（億円・各期の数値は累計）

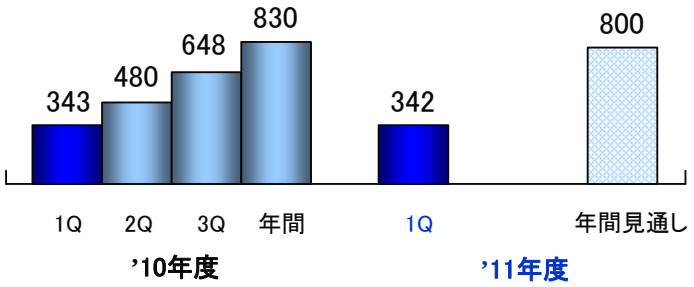
受注



売上



営業利益



受注 ：対前年同期＋801億円の増加

・東日本大震災による電力供給不足に対応するための新規緊急電源供給等、国内向けGTCCの増加により、前年同期を上回った。

・受注環境は競争激化や円高の進行により厳しさを増しているが、アジアの電力市場は回復しつつあり、火力発電プラント等の商談に積極的に対応している。

【ガスタービン受注台数】
’10-1Q：2台（地域内訳：アジア2台）
’11-1Q：7台（地域内訳：国内5台、アジア2台）

【ガスタービン契約残台数（単独）】
’10-1Q末：48台 （’10年度末：51台）
’11-1Q末：53台

売上/損益 ：対前年同期 △256億円/△1億円の減収減益

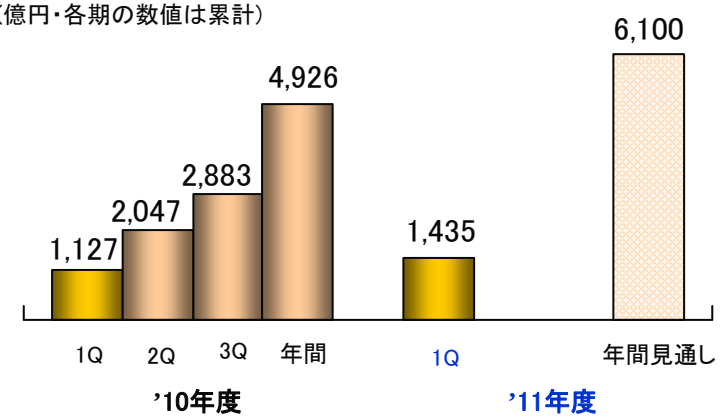
・売上は火力発電プラントが増加したものの、風車等の減少により前年同期を下回った。

・損益は、売上減少が減益要因となったが、海外プラント工事の採算改善が進んだこと等により、ほぼ前年同期並みとなった。

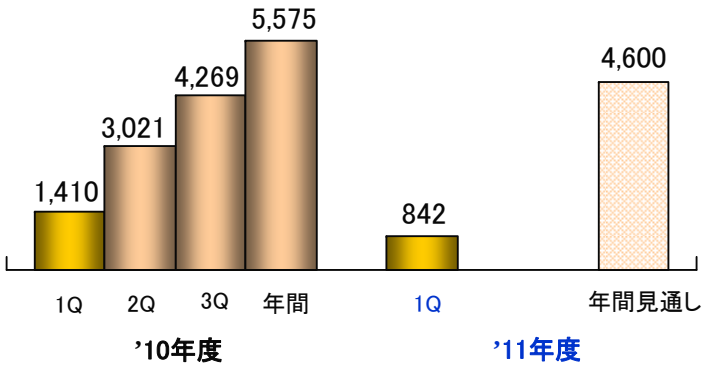
〈機械・鉄構〉

（億円・各期の数値は累計）

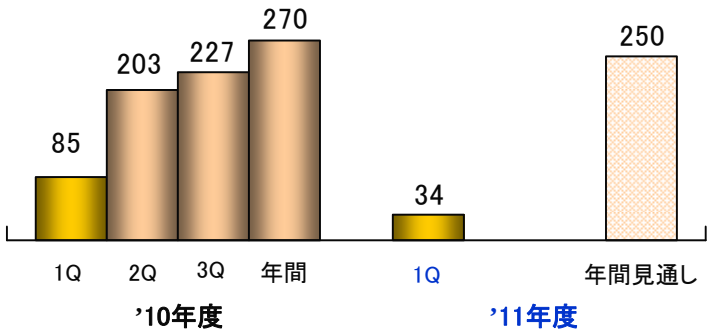
受注



売上



営業利益



受注 ：対前年同期＋307億円の増加

・インド向け製鉄機械の受注等により、前年同期を上回った。

・化学プラントの商談や、LNGプラントなどのガス分野向けコンプレッサの商談も具体化してきており、これらへの対応に注力している。

売上/損益：対前年同期 △568億円/△50億円の減収減益

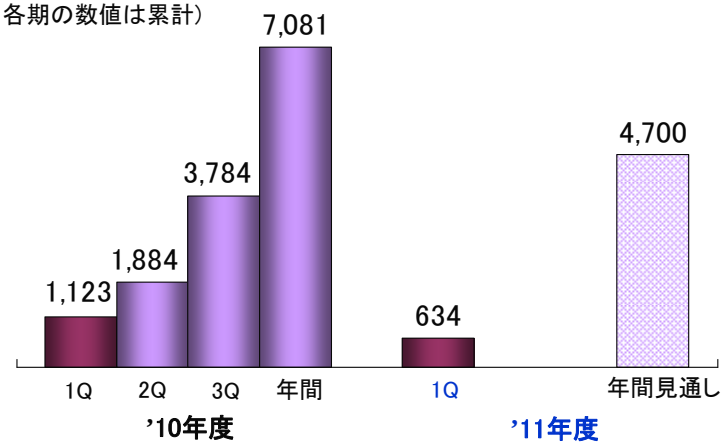
・前年同期に売上規模が大きかった化学プラント、交通システムが減少したこと等により、前年同期を下回った。

・損益は、事業の再構築は進んでいるものの、大幅な売上減少に加え、円高の影響により、前年同期から減益となった。

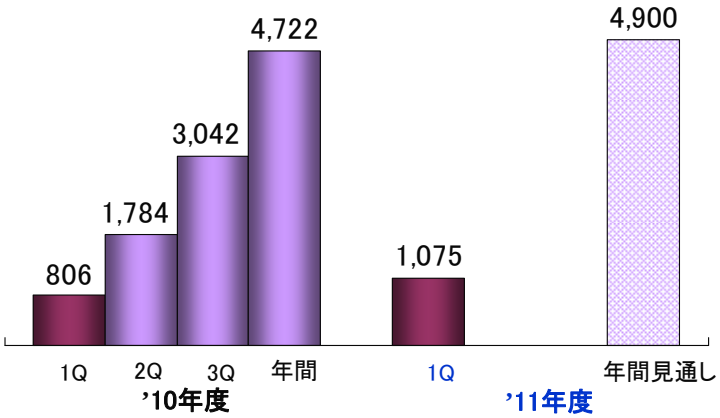
〈航空・宇宙〉

（億円・各期の数値は累計）

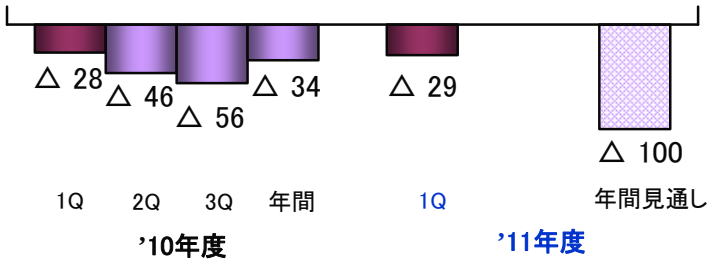
受注



売上



営業利益



受注：対前年同期 △489億円の減少

・前年同期には民間航空機の大型受注案件があったこともあり、前年同期を下回った。

売上/損益：対前年同期＋268億円/△0億円の増収減益

・売上は、防衛関係、民間航空機が増加したことにより、前年同期を上回った。

【B777 引渡機数】
'10-1Q: 16機 ('10年度: 63機)
'11-1Q: 22機

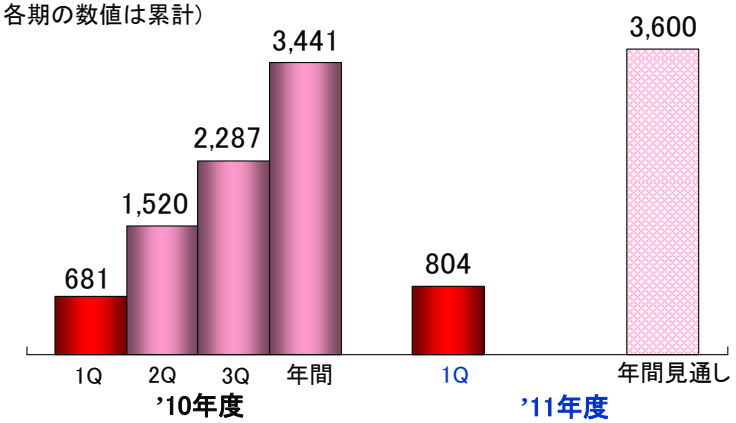
【B787 引渡機数】
'10-1Q: 4機 ('10年度: 17機)
'11-1Q: 7機

・損益は、円高が減益要因となったが、売上の増加、民間航空機の採算改善が進んだこと等により、前年同期並みとなった。

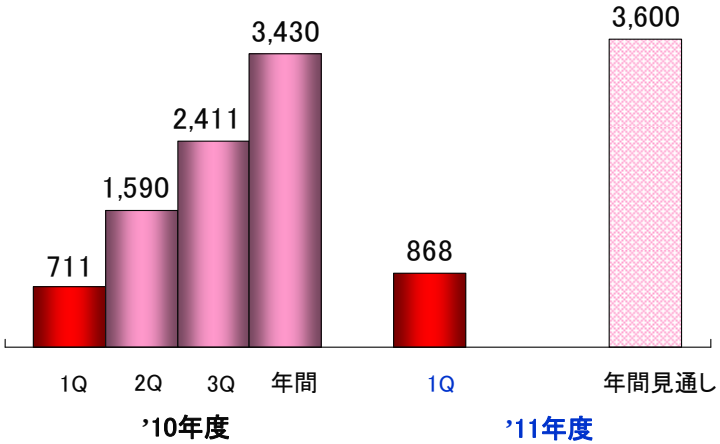
〈汎用機・特殊車両〉

（億円・各期の数値は累計）

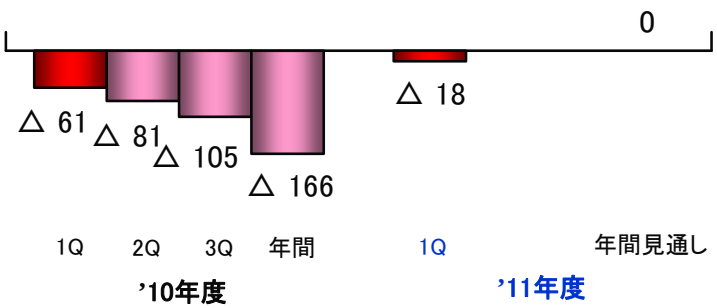
受注



売上



営業利益



受注/売上：対前年同期＋123億円/＋157億円の増加

・フォークリフトが北米向けを中心に増加した。また、欧州の自動車メーカー向けターボチャージャ、中国向け建設機械搭載用小型エンジンも好調に推移する等、前年同期を上回った。

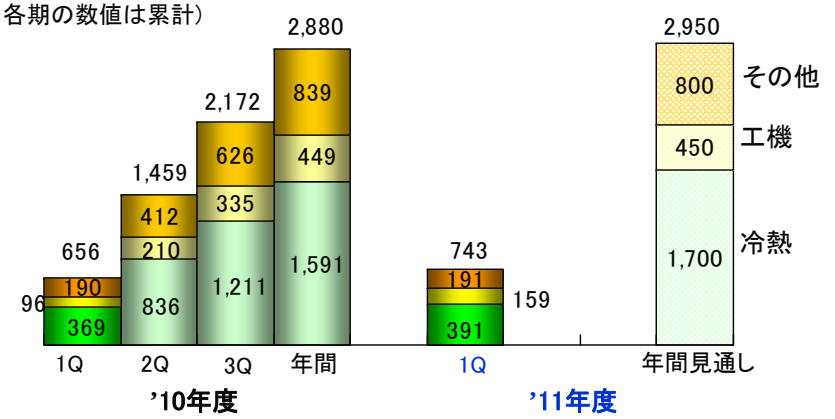
損益：対前年同期＋42億円の改善

・円高の影響を受けたものの、売上増加による増益効果に加え、強みのある機種への絞込み、固定費削減等の採算改善活動の加速により、前年同期から赤字幅が縮小した。

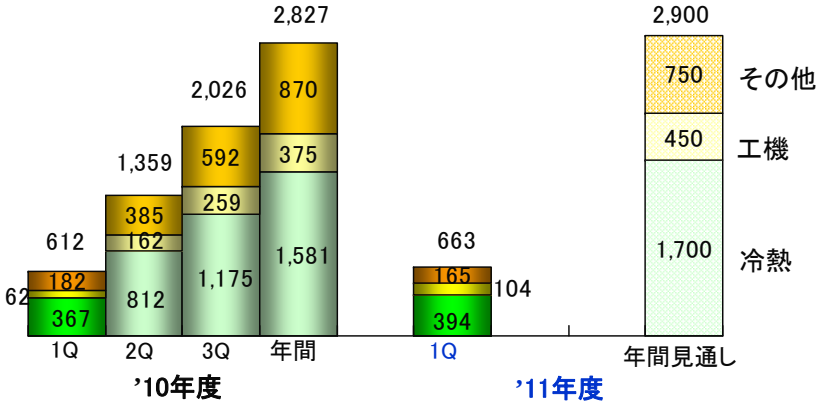
〈その他〉

（億円・各期の数値は累計）

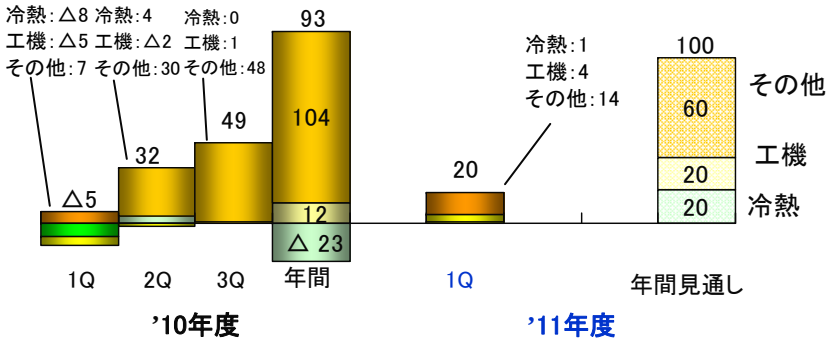
受注



売上



営業利益



冷熱

受注/売上：対前年同期＋22億円/＋26億円の増加

・ルームエアコン、パッケージエアコン等の増加により前年同期を上回った。

損益：対前年同期＋9億円の改善

・売上増加による増益効果等により、前年同期から改善し、黒字化した。

工機

受注/売上：対前年同期＋63億円/＋41億円の増加

・需要が回復してきた歯車機械を中心に好調に推移し、前年同期を上回った。

損益：対前年同期＋9億円の改善

・売上増加による増益効果等により、前年同期から改善した。

その他

・不動産・建設

・情報・通信サービス

貸借対照表

（単位：億円）

	'10年度末 ('11.3.31)	'11-1Q末 ('11.6.30)	増減
資産の部			
売上債権	8,526	7,389	△1,137
たな卸資産	11,162	11,488	＋326
その他流動資産	6,067	7,174	＋1,107
流動資産計	25,756	26,052	＋295
固定資産計	14,133	13,899	△234
資産合計	39,890	39,951	＋61
負債の部			
買入債務	6,191	5,911	△279
前受金	3,302	3,734	＋432
その他流動負債	5,846	5,795	△50
流動負債計	15,340	15,442	＋101
固定負債計	11,422	11,342	△80
負債合計	26,763	26,784	＋21
純資産の部			
株主資本	12,792	12,821	＋29
評価・換算差額等	△171	△152	＋19
その他（少数株主持分他）	506	497	△8
純資産合計	13,126	13,167	＋40
負債及び純資産合計	39,890	39,951	＋61
有利子負債残高	13,256	13,080	△176

三菱重工
この星に、たしかな未来を

補足資料

(1)所在地別セグメント情報

(単位:億円)

	'10-1Q		'11-1Q	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	6,193	354	5,542	352
北米	464	23	412	22
アジア	265	3	336	5
欧州	262	△ 7	322	△ 4
中南米	57	15	48	9
大洋州	17	1	14	0
アフリカ	–	△ 0	–	–
消去または共通	△ 619	–	△ 540	–
合計	6,641	390	6,136	387

(2)海外売上高

(単位:億円)

	'10-1Q		'11-1Q	
アジア	934	(25%)	828	(30%)
北米	706	(19%)	746	(27%)
欧州	558	(15%)	569	(21%)
中南米	664	(18%)	260	(10%)
中東	399	(10%)	191	(7%)
アフリカ	445	(12%)	95	(4%)
大洋州	31	(1%)	39	(1%)
合計	3,741	(100%)	2,730	(100%)

(3)減価償却費・設備投資額

(単位:億円)

	'10-1Q	'11-1Q	'11年度見通し
減価償却費	310	291	1,300
設備投資額	262	220	1,300

(4)研究開発費

(単位:億円)

	'10-1Q	'11-1Q	'11年度見通し
研究開発費	229	214	1,300

三菱重工
この星に、たしかな未来を

Ⅱ. 2011年度業績見通し

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

業績見通し サマリー

2011年4月28日に発表した業績見通しからの変更はありません。

（単位：億円）

	’10年度 （実績）	’11年度 （見通し）
受　　注　　高	29,954	30,000
売　　上　　高	29,037	28,500
営　業　利　益	1,012	1,100
経　常　利　益	681	700
当 期 純 利 益	301	350

業績見通し セグメント別

2011年4月28日に発表した業績見通しからの変更はありません。

（単位：億円）

	受注		売上		営業利益	
	'10年度（実績）	'11年度（見通し）	'10年度（実績）	'11年度（見通し）	'10年度（実績）	'11年度（見通し）
船舶・海洋	1,732	2,100	3,024	3,000	18	50
原動機	10,228	11,000	9,969	10,000	830	800
機械・鉄構	4,926	6,100	5,575	4,600	270	250
航空・宇宙	7,081	4,700	4,722	4,900	△ 34	△ 100
汎用機・特殊車両	3,441	3,600	3,430	3,600	△ 166	0
冷熱	1,591	1,700	1,581	1,700	△ 23	20
工機・その他	1,288	1,250	1,246	1,200	116	80
その他	2,880	2,950	2,827	2,900	93	100
消去または共通	△ 336	△ 450	△ 512	△ 500	–	–
合計	29,954	30,000	29,037	28,500	1,012	1,100